

●炭焼き窯の焚口の上部は長年の使用で金具が薄くなってこの状態での使用が危なくなっていました。

気付いていた森島さんが金具を見つけ取り換えを行い使用に耐えられるように修理が出来ました。里山の会が活動を開始する以前（1996年）は、「お爺さんは山へ柴刈りに、お婆さんは川へ洗濯に」との時代で炭（木炭）は貴重な燃料とされていました。そのころの最盛期には出来上がった炭の窯出しを午前中に行い午後には原木を詰め込んで着火を行い夜遅くまで火守りを行っていたとお聞きし、12月頃から毎週3月末まで炭焼きが行われていたといわれていました。木炭の原木はコナラが使用されていたのでその名残が京都府のレッドデータに普賢寺地域のコナラ林が掲載されています。先日伐採した大木の6本の年輪が40と読み取りました。約40年前ごろから取り扱いやすい化石燃料が普及した頃でした。



私たちはこの炭焼技術を継承してゆきたいと貴重な炭焼き窯を利用させていただいています。今年は7回目の自力体験で火の調整や空気調整の加減を行ってみたいと試みています。空気遮断する密閉後7日ぐらいで窯出しが可能となります新しい試みが成功しているのか明らかになります。楽しい取組ですので多くの皆さんのお越しをお待ちしています。3月には取り出したいと思っています。今回は新しい仲間、吉田さん家族をお迎えして点火を行いました。



中学生の中沢君・吉村君といつものメンバー森島、太田、金田、有田、大村、小川さんなど13人も参加がありました。着火直後は黒い煙で、徐々に白くなり木酢液が採取出来ます。比較的匂いがして酸性ですので生き物たちが寄り付きにくく、一昨年カメ虫が畑で発生した折に威力を發揮してくれました。家庭菜園などでは防除作用に利用価値があるのではと思います。里山の会では3年物を250ml 300円で原液をお譲り出来ます。



●植物観察会を木津川市加茂町で行いました。 3月15日(日)

今回の観察会は光田先生を含めて、3人でしたが、無事13時頃終了しました。加茂駅で先生を迎え、現地で仲沢さんと合流でき、藪の中、4か所のユキワリイチゲ群落を観察しました。少し曇り空だったのですが、花の状態は、3日前の下見の時に比べてよく咲いていました。昨年より花の数は多く、群落の範囲も広がっていました。

- ①川の手前 範囲 3m×2.5m 花の数 150本ぐらい      ②川の斜面 面積 12㎡ 花の数 65本
  - ③奥の左 面積 1.8㎡ 花の数 27本      ④奥の右 面積 3.8㎡ 花の数 145本
- 周り マダケかハチク      随伴 キチジョウソウ、カテンソウ、チャノキなど



(先生の見解) キチジョウソウが非常に多く、カテンソウもユキワリイチゲの生育を阻んでいるようだ。今までは、状態を見るだけの調査、観察でしたが、増やしていくには色々方法があるのだと思いました。

伊藤 千恵子

●3月下旬からの予定

3月19日	国交省淀川河川事務所	公募申請期日		
3月20日	京都いきものフェス	けいはんな記念公園	10:00~16:00	無料
3月21日	ジャガイモの植え付け	里山農園	10:00~12:00	5家族 無料
3月25日	事務局会議	会事務所	9:30 ~12:00	
3月 未定	木炭の窯出し	炭焼き窯(京田辺市打田)	10:00~12:00	
3月28日	第3回理事会	会事務局	13:00~16:30	
3月29日	馬坂川河口清掃	馬坂川河口	10:00~15:00	
4月 4日	親子花見乗船体験	馬坂川河口	10:00~14:30	
4月18日	春の野草を食する会	里山農園	10:00~12:30	
4月29日	第32回通常総会	中央公民館	未定	

●先日の事務局会議で公募されている(19日受付締め切り)の2026年度木津川希少種植生調査管理業務を申請するかどうかを検討しました。

これまで京都府の「交響プロジェクト交付金」は予算化されていけませんので財政的に大打撃となり、イベント開催で子ども育成事業は財政的に非常に苦しくなる見通しです。その上国交省の公募を受注しないとなれば会の運営は成り立たなくなるのは火を見るより明らかで、基本的に会費収入のみとなり財政面から見ると受注しない手は考えられません、しかし長距離に及び、斜面という厳しい条件は作業員の高齢化が進み体力の衰えから無理ができないのではないだろうかとの意見があり、検討に検討を重ねてまいりました。受注作業のうち生育調査は継続できる見通しが明らかになりました。問題はハンマーモアによる刈り取り作業です。検討の結果、手近などところでの希少植物植生維持を実施可能な範囲とすべきではないかと落ち着き、大きな課題を残していますが受注申請をすることにいたしました。

植物愛好家のみなさまへ お願い

仲間の皆様、木津川堤防には35カ所に貴重な植物がかろうじて生育をしています。約30年前から調査を開始して維持管理を行い、これを理解した国交省淀川河川事務所は河川協力団体であるやましろ里山の会への受注を実現し、その対価を得て里山農園開発や会運営が可能とすることができてまいりました。それから30年寄る年波を乗り越えてまいりましたが、現在如何ともし難いところに差し掛かりました。維持管理範囲を縮小する方向で2026年度をと思っています。現状を御理解いただけましたら、ほんの少しでもお手伝いをお願いいたします。

除草活動を行った月日

6月19日	7月14日	10月25日
6月21日	8月9日	10月26日
6月21日	8月10日	11月1日
6月28日	7月28日	11月2日
6月29日		11月8日
6月24日		11月15日
		11月16日
		11月22日

作業時間 13:00~15:30

ハンマーモアの運転(刈り倒し)



作業内容 自走式草刈り機運転